

Toyama Kankyou Seibi

CSR reoprt 2014



株式会社 富山環境整備

目次

● 会社案内	02
経営理念／会社概要／組織図	
富山環境整備の歴史	03
トップメッセージ	04
● 事業紹介	05
事業活動全体図／廃棄物事業	
リサイクル事業	08
ボトリング事業	09
アグリ事業	10
● KPI	11
● ハイライト	13
● 環境	14
● 社会	18
● 経済	21

編集方針

- 報告対象組織
株式会社富山環境整備
- 報告対象期間
2012年11月～2013年10月
(一部対象期間外の活動を含む)
- 発行時期
2014年9月
- お問合せ先
株式会社富山環境整備
総務部 総務課 谷口
〒939-2638 富山県富山市婦中町吉谷3-3
E-Mail:yositani@tks-co.jp
TEL:076-469-5356／FAX:076-469-5635

参考ガイドライン

- 環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)
- 温室効果ガス排出算定・報告・公表制度

今回のCSRレポートの印刷・製本において排出されるCO₂排出量1.15kgに対して、カーボン・オフセットを実施してCO₂削減に貢献しています。

会社案内

経営理念

感謝

今日あるのは、先人や会社に係る全ての関係者の皆様のおかげである。
これを基に感謝の心と高い徳性を持ち企業活動を行う。

共生

共に相手を認め、互いを必要とし、共に生かし合う関係をもって、地域社会とともに繁栄し、人々の幸福のために行動する。

公益

我々が行う事業活動は、国家・国益・社会益のためにいき、新しい公共の利益を創造する。

会社概要

■社名 株式会社富山環境整備

■代表者 松浦 英樹

■設立 1972年10月

■資本金 2,000万円

■社員数 237名

■関連会社 坂本組株式会社

資源開発株式会社

株式会社クア・ソリューション

株式会社スマートフォレスト

株式会社万榮

NPO法人 安全企画センター

■加盟団体 一般社団法人 富山県産業廃棄物協会

一般社団法人 石川県産業廃棄物協会

特定非営利法人 プラスチックマテリアルリサイクル
最終製品利用推進協議会

公益社団法人 富山県計量協会

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

一般社団法人 日本環境測定分析協会

■認定団体 自動車リサイクル法施設認定

一般社団法人 日本パレット協会

エコスタッフ・ジャパン株式会社

■所在地

●本社

富山県富山市婦中町吉谷3-3

●富山支店

富山県富山市金屋3783-8

●富山西営業所

富山県射水市黒河2164-1 ガーデンハウス黒河101-2

●黒部営業所

富山県黒部市萩生新堂7419

●不二越東富山事業所

富山県富山市米田10

●吉谷事業所

富山県富山市婦中町吉谷3-3

●池多事業所

富山県富山市池多1831-1

●下吉川事業所

富山県富山市婦中町下吉川517

●金沢営業所

石川県金沢市木越町ホ-68

●東京支店

東京都品川区南大井5-22-12

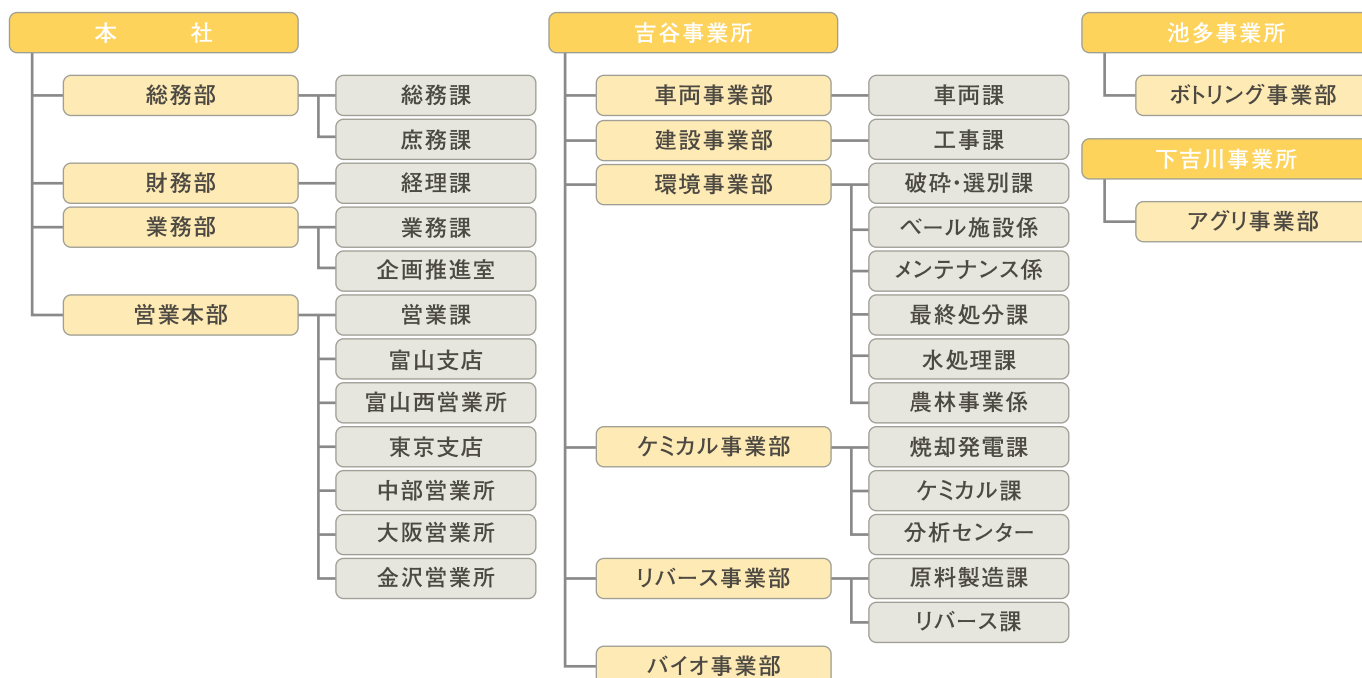
●中部営業所

愛知県小牧市小牧原新田1703-1

●大阪営業所

大阪府高槻市芥川町2-24-5

組織図



富山環境整備の歴史

1972年	トヤマロードサービス個人創業
1973年	有限会社富山環境整備に社名変更
1974年	産業廃棄物収集運搬業取得
1985年	産業廃棄物処分業取得
	産業廃棄物最終処分場(旧処分場)設置
1988年	株式会社富山環境整備に社名変更
1992年	産業廃棄物最終処分場(第1期処分場)設置
1993年	産業廃棄物最終処分場(第2期処分場)設置
	産業廃棄物圧縮・減容施設設置
1995年	一般廃棄物処理施設(選別・圧縮)設置
1996年	金沢支店(営業所)開設
1998年	産業廃棄物選別施設設置
1999年	産業廃棄物破碎・選別施設設置
2000年	一般廃棄物処理施設(圧縮・結束)設置
	プラスチック再製品化施設「リバース工場」設置
	汚泥・残土再資源化施設(選別・分級・脱水)設置
2001年	一般廃棄物処理施設(再材料化施設)設置
	産業廃棄物再材料化施設設置
	産業廃棄物圧縮・減容(ラージベール)施設設置
	いちごハウス栽培開始
2002年	産業廃棄物最終処分場(第3期管理型処分場)設置
2004年	ISO9001-2000を建設事業部、環境事業部(リバース工場)で認証取得(JAB)
2005年	ISO14001-2004を本社、吉谷事業所、富山支店全域で取得(JAB)
	富山西営業所開設 ISO14001-2004適用範囲追加
2006年	エコスタッフ・ジャパン株式会社認定
2007年	生物処理・中和施設設置
2008年	キレート・吸着処理施設設置
	発電併用焼却施設「リバースパワー」設置
2009年	特別管理産業廃棄物処理業取得
2010年	汚染土壌処理業取得
	自動車リサイクル法施設認定
2011年	計量証明事業登録
	優良産業廃棄物処理業者認定
	(富山県 産業廃棄物収集運搬業/富山県 特別管理産業廃棄物収集運搬業/富山市 産業廃棄物処理業)
	微量PCB汚染廃電気機器無害化処理大臣認定
	下吉川事業所開設(アグリ事業)
2012年	池多事業所開設(ボトリング事業)
	微量PCBを含む低濃度PCB廃棄物の無害化処理大臣認定
2013年	日本ユネスコ協会連盟との連携プロジェクト「天空の杜プロジェクト」始動
	東京支店(営業所)開設
2014年	大阪営業所開設、中部営業所開設
	優良産業廃棄物処理業認定(富山市 特別管理産業廃棄物処理業)
	微量PCBを含む低濃度PCB廃棄物無害化処理大臣認定(再認定)

トップメッセージ

昨年に引き続き、持続可能な社会・企業を目指して行ったCSR (Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任) 活動を一冊にまとめた「富山環境整備CSRレポート2014」を発行させて頂きました。広くステークホルダーの皆様にお読み頂き、是非忌憚のないご意見をお聞かせ頂きますようお願い申し上げます。



株式会社富山環境整備
代表取締役 松浦 英樹

■富山環境整備の使命～CSRの考え～

当社CSR活動は、経営理念である「感謝・共生・公益」の追求・実現に基づき実施され则认为しています。今日の当社があるのは、先代代表や各時代を支えてきた従業員、地域の方々をはじめとするステークホルダーの皆様のご理解とお力添えを頂きながら廃棄物処理業としての基礎を共に築くことができたからと认为しています。この地域で事業できることに「感謝」の気持ちを常に持ち、地域の皆様との「共生」を図りながら、当社の環境事業を通じ「公益」を創造していく。この事を通して持続可能な社会・企業へ進化していくと认为しております。

■富山環境整備の変化～廃棄物事業を軸とした展開～

2012年から開始した低濃度PCB廃棄物無害化処理事業は、第41期(2012年11月～2013年10月)においては年間2446.2tのPCB廃棄物処理を実施しました。また、これを機に全国各地のPCB処理を含めたお客様の声に応えるために、東京支店、中部営業所、大阪営業所を新たに開設しました。さらに、2014年9月に当社PCB処理施設の再認定を受けたことで処理能力が向上し、今後更なる処理拡大を見込んでいます。日本が抱える環境課題の解決に少しでもお役に立てればという想いで事業を行っております。

また、アグリ事業にも大きな進展がありました。2014年3月に農林水産省の「次世代施設園芸導入加速化支援事業」の実施地区に、当社が事業主体として参加しております「富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点整備協議会」が採択されました。この事業では廃棄物処理施設から生まれるエネルギーをハウス施設で有効活用する“環境に配慮した農業”と最新の情報処理、通信技術を活用して“経験と勘に頼らない高付加価値農業”の実現に向けたパイロット実証を行います。廃棄物事業は地域の皆様のご理解とご協力があって初めて成り立つ事業です。このような事業を行う当社を受け入れてくださった地域への恩返しの一つとして、アグリ事業を通して新たな雇用や産業を創出し、稲作中心である富山地域の農業のステップアップに寄与できればという想いでおります。

このような進展に伴い、関連してくる環境・社会的課題やステークホルダーが変化していると認識しています。変化に対応し着実な取り組みを行うためにKPI(活動に対する目標値)を定め、CSR経営に引き続き取り組んでまいります。

■富山環境整備の展望～新しい公共インフラサービスの創出へ～

今後は廃棄物の中の「未利用資源の活用」を更に追及していきたいと认为します。廃棄物の処理量を増やしていきながらも、その中の未利用資源に関して更に活用先を拡大し、「廃棄物」ではなく「資源」と捉える範囲の拡大を目指します。また、日本政府成長戦略の「官業の解放」という流れに沿い、未利用資源を活用した新たな公共インフラサービスの創出等を通じ、新たな価値の提供に携わっていければと认为しております。

事業紹介

富山環境整備の事業活動全体図

当社では4つの柱に基づき事業活動を行っております。

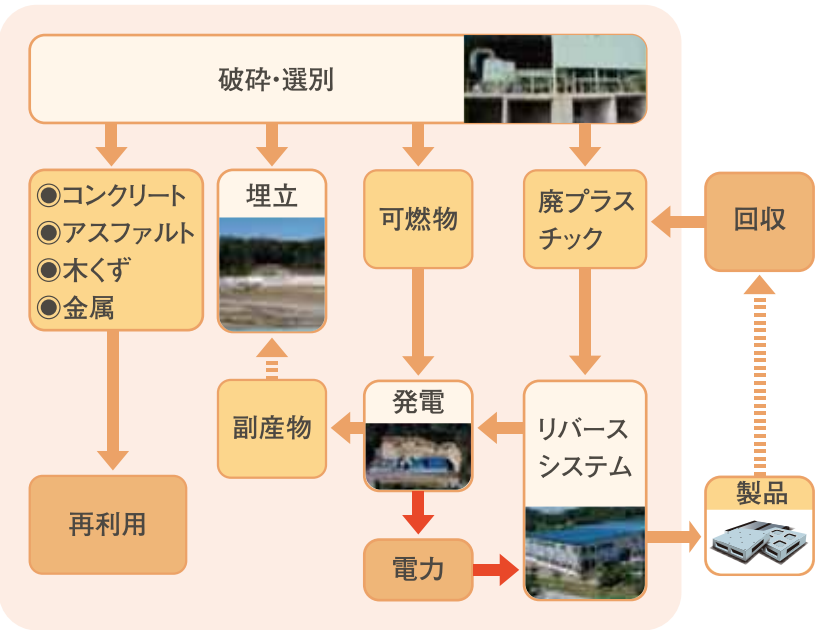


廃棄物事業

廃棄物処分量

産業廃棄物の選別から中間処理、最終処分まで、同じ敷地内において行っています。
この国内でも珍しい「一極集中型処理システム」により、高効率化・省エネルギー化を実現しています。

一極集中型処理システム(吉谷事業所処理工程)



- 一極集中型処理システムのメリット
- 建築・建築系混合廃棄物の迅速な処理
 - マニフェスト伝票E票の返却が早い
 - 同じ敷地内で完結処理するため透明性が高い
 - 安心して廃棄物の処分を委託できる
 - リサイクル優先システムでリサイクル率アップ

- I. 中間処理業
- ①選別施設、破碎・選別施設(建築系混合廃棄物)
 - ②圧縮・減容(造粒)施設(廃プラスチック)
 - ③破碎・洗浄施設(廃プラスチック)
 - ④破碎・圧縮施設(廃プラスチック)
 - ⑤圧縮・減容(ラージベール)施設(廃プラスチック)
 - ⑥生物処理・中和、凝集施設(廃酸・廃アルカリ)
 - ⑦キレート処理・吸着処理施設(汚泥、燃え殻等)
 - ⑧発電併用焼却施設
- II. 最終処分業
- ①産業廃棄物最終処分場
- III. 特殊処理
- ①PCB廃棄物無害化認定施設
 - ②ASR(自動車破碎物)

産業廃棄物処分許可品目／計17品目					
燃え殻	廃アルカリ	紙くず	汚泥	廃油	廃酸
木くず	ばいじん	廃プラスチック	繊維くず	動植物性残渣	銻さい
金属くず	がれき	ゴムくず	ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず		
13号廃棄物	(自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物を含む)				

特別管理産業廃棄物処分許可品目／計7品目					
廃酸(腐食性、有害性)	廃アルカリ(腐食性、有害性)	銻さい(有害性)	ばいじん(有害性)	燃え殻(有害性)	汚泥(有害性)
感染性廃棄物					

廃棄物収集運搬業

様々な廃棄物の収集運搬に対応するために、各種車両を保有しております。

廃棄物の種類や数量に応じた車両をご提案させていただきます。また、富山県、射水市等の委託業稀として、一般家庭の可燃物及び不燃物も回収しています。



運搬車両／計49台			
清掃車(6台)	キャブオーバ(10台)	ダンプ(11台)	脱着装置付コンテナ専用車(7台)
塵芥車(11台)	バン(2台)	タンク車(2台)	

産業廃棄物収集運搬許可品目／計16品目					
燃え殻	廃アルカリ	紙くず	汚泥	廃油	廃酸
木くず	ばいじん	廃プラスチック	繊維くず	動植物性残渣	鉱さい
金属くず	がれき	ゴムくず	ガラスくず、コンクリート及び陶磁器くず		



特別管理産業廃棄物収集運搬許可品目／計8品目			
燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ
ばいじん	感染性廃棄物	廃酸	鉱さい



PCB廃棄物
その他

計量証明業／分析センター

複雑・多様化する廃棄物に対し、「安心・安全」な処理方法をご提案するため自社内で分析を行っております。計量証明事業として、自社排水、排ガスのモニタリング、受入物の性状管理、処理後の無害化確認などを行っており、持ち込まれる廃棄物等の性状分析を主な業務としておりますが、外部の分析依頼にも対応できる体制を整えております。

また、当社事業場から発生する排水、処理水、放流水、河川水、地下水、排ガス、燃え殻、ばいじんなどを分析し、自主的な管理を実施しています。



各種清掃作業

安心・安全で住みよい環境づくりを行うために、工場敷地内や道路など多様な現場での各種清掃作業に対応致します。

■ピット清掃、配管等の高圧洗浄作業

特殊車両を用いてピットや配管内の汚泥回収・洗浄を行います。

■除草作業

国道・河川敷・私有地の草を刈り上げます。

■事業場の側溝清掃、河川浚渫作業

事務所内の側溝にたまった土砂を回収します。また、河川の堆積を浚渫し清掃します。

■道路路面清掃

国道から町道の車道及び歩道の路面を清掃します。



事業紹介

■ 低濃度PCB廃棄物の無害化処理

2012年に微量PCB汚染廃電気機器等、2013年に低濃度PCB廃棄物の無害化処理に係る大臣認定を受け、無害化処理を実施しております。当社の発電併用焼却施設が低濃度PCBの無害化処理に係る施設として全国17社※うちの1社として認定されており無害化処理の実施と、収集運搬は広域認定を取得し、日本全域の収集運搬が可能です。

低濃度PCB廃棄物とは、微量PCB汚染廃電気機器等と低濃度PCB含有廃棄物の2つに区分されています。微量PCB汚染廃電気機器等とは、平成2年以前に製造された本来PCBが使用されていないはずのトランス・コンデンサなどの絶縁油中に、非意図的にPCBが混入し、廃棄物処理法で定める基準（PCB濃度0.5mg/kg）を超えるものをいい、低濃度PCB含有廃棄物とは、PCB含有濃度が5000mg/kg以下のものをいいます。この低濃度PCB廃棄物は高濃度PCB廃棄物（意図的にPCBが混入された廃棄物）と同様に厳重な処分が必要になります。



※平成26年8月31日現在の環境大臣認定無害化処理施設数

■ 処理する廃棄物の種類及び処理量

処分方法	種 類		処理量
ロータリーキルン式 焼却炉処理	廃PCB等	●微量PCB汚染絶縁油 ●廃油（PCB濃度5,000mg/kg以下）	14.4kl/日（600l/時）
	PCB汚染物	●汚泥 ●木くず ●紙くず ●繊維くず ●廃プラスチック類 ●金属くず等 （金属くず、陶磁器くず、コンクリート研りくず等） （自社運転廃棄物含む）	52.8t/日（2.2t/時）
	PCB処理物	●廃油 ●廃酸 ●廃アルカリ ●汚泥 ●木くず ●紙くず ●繊維くず ●廃プラスチック類 ●金属くず等	
固定床炉処理	PCB汚染物	●廃電気機器 ●ドラム缶類 ●OFケーブル ●金属くず等	21.84t/日（5.46t/バッチ）
	PCB処理物	●金属くず等	

■ 収集・運搬車両（広域認定）



【タンクローリー】
台数/2台
最大積載量/～11t



【キャブオーバー】
台数/7台
最大積載量/～11t



【バン】
台数/2台
最大積載量/～13t

PCB廃棄物の処理に関してはこちらにお問合せください！

当社HPから申込書の基本シート及び情報シートをご記入の上、写真、名盤、PCB濃度分析表などと共にメールにてご提出いただければ早く対応できます。

本社
営業部

TEL：076-469-5356
FAX：076-469-5635
E-mail：pcb-pt@tks-co.jp

リサイクル事業

リバースシステム(プラスチック製容器包装再商品化システム)

リバースシステム(Re-Birth System)とは、プラスチック製容器包装材廃棄物の自己完結型リサイクルシステムです。容器包装リサイクル法の認定事業者である当社は、再商品化事業者として適正に容器包装材をプラスチック原料化し、同じ敷地内で再商品化製品利用事業者として『リバースパレット』を製造しています。製品として使用後廃棄になるパレットは、再度リサイクルされリバースパレットになります。

循環型システムを自社内で形成している、国内でも数少ないシステムです。



**RE-BIRTH
PALLET**

リバースパレット



再生材料を利用したリサイクル製品でリバースパレットは、エコマークや富山県認定リサイクル製品として登録されています。

特徴

- 家庭から排出された容器包装プラスチックごみによるリサイクル製品
- ごみから製品を作り出す「マテリアル(材料)リサイクル」100%を実現
- 耐久年数、耐荷重、強度試験JIS Z0602合格
- 廃棄時には無償で引き取り、再度リサイクル可能
※運賃は別途になります。

製品紹介

1100mm シリーズ	RBP-R4-1111	1100mm× 1100mm× 150mm	4方差し・ 両面使用タイプ	約35kg	1トン(動荷量) 3トン(静荷量)
	RBP-R4-1111L			約26kg	
	RBP-D4-1111		4方差し・ 片面使用・ ハンドリフト可	約34kg	
	RBP-D4-1111L			約25kg	
1400mm シリーズ	RBP-R4-1411L	1400mm× 1100mm× 140mm	4方差し・ 両面使用タイプ	約34kg	

事業紹介

ボトルリング事業

富山の立山連峰・北アルプスの雪解け水を原水とし、独自の非加熱処理により原水の味を失うことなくさらにおいしく浄化した「天空の杜」を製造・生産しています。



工場所在地：富山市池多1831-1
稼働開始時期：2013年2月
生産能力：144,000本／日



自然と英知のダブルW浄化

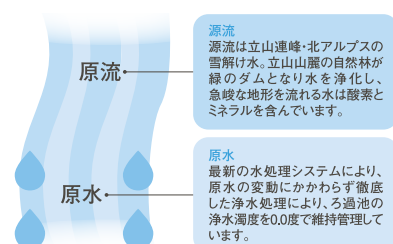


「とやまの水」は何故おいしいの？

- 水源は雪と凍りに覆われた「立山連峰」。日本で唯一の氷河が発見されています。
- 時を超えて磨かれた清冽な水が、深い谷を下り富山平野を潤します。
- 大自然の恵みをそのままに、非加熱で安全性を高めた「安心のおいしさ」です。

■非加熱

有害な雑菌を取り除いてあるのはもちろん、非加熱であるため、水に含まれるミネラルが減少したり水のおいしさの要素である酸素や炭酸ガスなどが失われることなく、自然に近いおいしさが味わえます。



濁りを除去	ヒューセルろ過 30μm
においを除去	鉄、マンガン除去 活性炭ろ過装置
不純物を除去	ヒューセルろ過 3μm
ウィルス・細菌の除去	セラミックフィルター 0.2μm

フォレストウォーター

天空の杜 | 2ℓ / 150円 (メーカー価格)
ボトルウォーター | 500ml / 100円 (メーカー価格)

アグリ事業

当社がアグリ事業に取り組む理由は、設立当初に先代が地域住民の方々と交わした約束を守るためです。「最終処分場の埋立完了後の跡地を利用して雇用を生み出して欲しい」。この想いに対して、富山が持つ豊かな大地や自然・資源を考えた時に『農業』を通じて雇用を生み出し地域活性化を図りたいと思い、2001年より開始しました。また当社ならではの農業のあり方を考えた結果、廃棄物由来のエネルギーを活用した環境配慮型農業と最新技術を駆使した高付加価値農業の実現による雇用の創出と地域活性化という新たな農業の形※を実現し、地域の皆様とのお約束を果たしていきます。



※ 当社の目指す農業の形について、詳しくは13ページ「農林水産省「次世代施設園芸導入加速化支援事業」に採択されました!」をご覧ください

栽培・販売商品

■ トマト～フォレストフルティカ～

下吉川事業所では「養液土耕」という栽培方法でトマト『フォレストフルティカ』を栽培しております。この栽培方法は水分や肥料などを適切な量で栽培できる方法のため、資源の無駄がなく、高品質なトマトをつくることができます。また、トマトを栽培しているハウスには電気式ヒートポンプを導入し、環境負荷の低いエネルギーで施設運営しています。冬場は1～2mの積雪がある地方ですが、養液土耕と電気式ヒートポンプ施設での栽培により糖度8～10度で通常より2～3倍のリコピンを含むトマトが実っています。



■ イチゴ～恋莓～

吉谷事業所内ではイチゴの栽培を行っております。栽培しているのは『恋莓』という品種で、一年中収穫できる四季成りイチゴです。豊富なミネラル水により、真っ赤な色で粒も大きくみずみずしいのが特徴です。糖度は冬季には18度前後、夏季には11度前後になります。また、高床式水耕栽培・加湿栽培システムにより作業効率を大幅に向上させています。



■ 花卉(かき)～吉谷事業所 バイオ事業部～

「バイオ事業部」は吉谷事業所内にある研究センターで花卉(トルコキキョウ、ラナンキュラス等の品種)の栽培と品質研究を行っております。次世代施設園芸事業を通じた大規模な生産へ向けて準備を進めています。



KPI —Key Performance Indicator—

当社の取り組むべき社会的に重要な課題を明確にし、実りのあるCSR活動にするために、「KPI(主要業績評価指標)」を策定しております。KPIは毎年見直しを行い、時代の流れに沿った活動やそれに対する目標設定、年間の行動計画を立てております。

■重要課題とKPI 実績対象期間／2012年11月～2013年10月(第41期)

重点課題	大分類	中分類	KPI	対象範囲
資源の有効活用	廃棄物の削減	一般廃棄物排出重量(可燃物)の削減	一人あたりの一般廃棄物排出量削減率	当社
資源の有効活用	環境配慮行動	PPC用紙の使用抑制	一人あたりのPPC用紙使用量削減率	当社
資源の有効活用	環境配慮行動	環境配慮印刷	CSRレポートにおける環境配慮印刷実施	当社
低炭素社会の実現	CO2排出量の削減	事務所の電気使用量削減	事務所の電気使用量削減率	当社事務所
低炭素社会の実現	CO2排出量の削減	工場の電気使用量削減	生産量あたりの電気使用量削減率	当社工場
低炭素社会の実現	CO2排出量の削減	自動車燃料の削減	自動車の燃費	当社保有車両
低炭素社会の実現	CO2排出量の削減	重機の燃料消費量削減	重機の燃費	当社保有重機
低炭素社会の実現	CO2排出量の削減	エネルギー効率の向上	低燃費車導入率(平成27年基準低排出ガス重量車)	収集運搬車両
低炭素社会の実現	CO2排出量の削減	有害物質の排出抑制	低排ガス車導入率(平成17年基準低排ガス重量車以降の規制車両)	収集運搬車両
社会的課題対応	環境教育	外部への環境教育実施	外部への環境教育実施件数	当社
社会的課題対応	コンプライアンス遵守	優良産業廃棄物処理業者の維持	優良産業廃棄物処理業者の情報公開状況	当社
社会的課題対応	地域の安全	防犯パトロールの実施	防犯パトロールの実施	NPO法人安全企画センター
社会的課題対応	地域コミュニケーション	地域イベントへの参加	地域イベントへの参加・協賛	当社
社会的課題対応	次世代教育	新卒採用	新卒採用実施状況	当社
社会的課題対応	地域コミュニケーション	清掃活動	清掃活動実施状況	当社
社会的課題対応	労働環境の整備	安全パトロール	安全パトロール実施回数	当社

■第41期のKPI結果に対する考察

第41期は前期（第40期）に比べると目標達成率は向上し良い結果が出ていますが、全体的にまだまだ改善の余地があり、持続可能な社会・企業をよりいっそう考えた行動計画を立て実施できるのではという可能性が見えました。この結果を踏まえて第42期以降の目標を策定しております。KPIに基づくCSR活動を全社員一丸となり実践し、引き続き持続可能な社会を目指していきます。

代表取締役／松浦 英樹

評価基準／○：目標達成 △：取組実施・目標未達 ×：取組未実施

取り組み内容	第41期目標	第41期実績	評価	第42期目標	第43期目標	第44期目標
●リサイクル分別の徹底 ●紙（雑誌、PPC用紙）のリサイクル ●プラスチックごみのリサイクル ●金属のリサイクル	39期比 3%削減	16.2% 増加	△	39期比 3%削減	39期比 3%削減	39期比 3%削減
●管理システムの構築及び改善 ●ペーパーレスファックスの検討 ●B4、B5用紙の活用	39期比 2%削減	17.0% 増加	△	39期比 2%削減	39期比 2%削減	39期比 2%削減
●水なし印刷による印字 ●森林認証紙（FSC用紙）の使用 ●印刷段階で発生するCO2排出量をオフセットする	実施	CSRレポート 2013にて 実施	○	実施継続	実施継続	実施継続
●ウォームビス、クールビスの励行 ●エアコンの温度設定 （暖房：22℃以下、冷房：27℃以上） ●エアコンの使用時期の清掃（月1回以上） ●休憩時間の照明消灯 ●高効率照明への更新	39期比 3%削減	36.8% 増加	△	39期比 3%削減	39期比 3%削減	39期比 3%削減
●工場の老朽化した設備の更新 ●破砕機の刃の交換頻度を高める ●工場設備の日常点検強化 ●作業効率・生産効率を高める設備の改造 ●インバーター制御への転換 ●高効率照明への更新	39期比 3%削減	25.6% 削減	○	39期比 3%削減	39期比 3%削減	39期比 3%削減
●無駄なアイドリングの排除 ●車両日常点検実施 ●低燃費車又は低公害車の導入	39期比 2%向上	11.1% 向上	○	41期比 1%向上	41期比 1%向上	41期比 1%向上
●効率的な運転の実施 ●日常点検実施	39期比 3%向上	25.7% 低下	△	39期比 3%向上	39期比 3%向上	39期比 3%向上
●車両更新時に随時導入	25%	32.7%	○	30%以上	30%以上	30%以上
●車両更新時に随時導入	35%	42.8%	○	40%以上	40%以上	40%以上
●月1回以上の見学者受入 ●外部での環境教育の推進	年間20件以上	21件	○	年間20件 以上	年間23件 以上	年間25件 以上
●データの更新を随時実施 ●CSRレポートでの情報公開実施	情報公開手段の 追加 （CSRレポート）	産廃情報ネット優良 産廃ナビCSRレポート2013 HPでの情報公開	○	情報公開の 継続	情報公開の 継続	情報公開の 継続
●防犯パトロールの実施	実施継続	日常的にパトロール 実施	○	実施継続	実施継続	実施継続
●地域のイベントへ参加・協賛 ●イベントで排出される廃棄物のリサイクル推進	2件	3件	○	3件	3件	3件
●新卒採用の実施 ●業界を担う次世代の育成	実施継続	実施	○	実施継続	実施継続	実施継続
●古谷事業所周辺道路の清掃活動実施 ●池多事業所の工業団地内清掃活動への参加 ●地域や各種団体主催の清掃奉仕活動参加	実施継続	実施	○	実施継続	実施継続	実施継続
●各部門ごとに安全パトロールを1回/月実施	—	—	—	年12回 （月1回）	実施継続	実施継続

農林水産省「次世代施設園芸導入加速化支援事業」に採択されました!

平成26年3月、農林水産省の「次世代施設園芸導入加速化支援事業」の実施地区として「富山スマートアグリ次世代施設園芸拠点整備協議会」が採択されました。事業主体として当社も参加する本コンソーシアムには、自治体・農業生産法人・地元農協などが参画し、富山県における次世代施設園芸の導入を進めています。

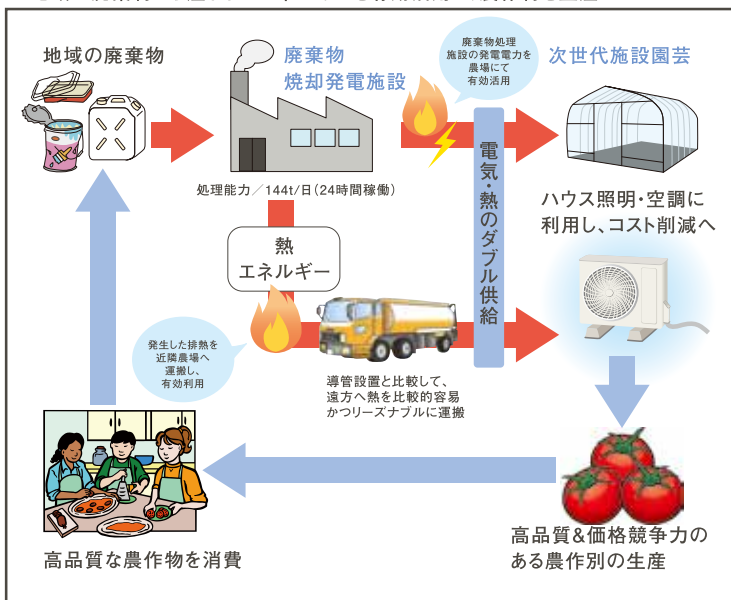
本事業のポイントは「地域資源エネルギーの活用とICT化を通じた高付加価値農業の実現」です。廃棄物処理施設から生まれるエネルギー（電力、熱）のハウスでの有効活用システム導入や、最新の情報処理・通信技術を活用したパイロット実証事業実施を通じてこれらの達成に繋がります。本事業を通して化石燃料の使用を低減した低環境負荷の農業、データを活用した効率的な農業、コストや生産性など競争力を持つ強い農業を実現し、地域産業の活性化や雇用の創出を目指します。

「次世代施設園芸導入加速化支援事業」

農林水産省が実施する補助事業で、先端技術と強固な販売力を融合させ、木質バイオマス等の地域資源エネルギーを活用するとともに、生産から調製・出荷までの施設の大規模な集約化やICT（情報通信技術）を活用した高度な環境制御を行うことにより、低コストな周年・計画生産を実現し、所得向上と地域の雇用を創出することを目的としています。

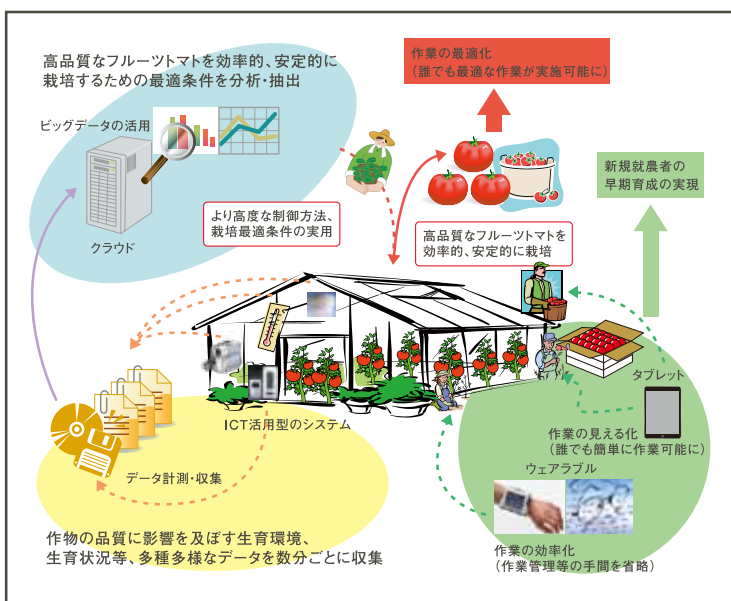
■地域資源エネルギーを有効活用した循環型農業モデル（イメージ）

地域の廃棄物から産まれるエネルギーを有効活用し、農作物を生産



■ICT等を活用した高付加価値農業のパイロット実証事業（イメージ）

安全安心な高付加価値製品の安定生産、「経験と勘」に基づく農業から科学に基づく農業の実現



低濃度PCB廃棄物の無害化処理環境大臣より再認定を頂きました!

2014年9月、微量PCBを含む低濃度PCB廃棄物無害化処理の環境大臣認定を受けました。今回の無害化認定は2012年6月以降3回目で、燃焼条件はロータリーキルン式焼却炉で燃焼濃度850℃以上、ガス滞留時間2秒以上、固定床炉の加熱処理が850℃以上、加熱処理時間2.5時間以上で無害化処理することとしています。2014年3月末現在でトランス類約3,700台、コンデンサ類約600台、ドラム缶1,600本を処理しました。今回の認定を受け今後更に多くのPCB廃棄物を処理していき、日本の抱える環境問題の解決を目指していきます。



環境方針

株式会社富山環境整備は、事業活動に伴う環境負荷を継続的に低減するとともに、地域の環境や社会に対して常に配慮する。また、求められるリサイクルニーズに速やかに対処し、環境教育活動を推進することによって循環型社会に貢献する。

- ① 廃棄物収集運搬業、廃棄物処理業、リサイクル業、製造業などの事業活動に係る環境マネジメントシステムを維持し、継続的改善によって環境負荷を低減し、汚染の予防に積極的に取り組む。
- ② 循環型社会に対応したオリジナルのリサイクルシステムをととして、排出事業者や施設見学者へのリサイクルに関する環境教育を推進することによって地域社会に貢献する。
- ③ 事業に伴う環境負荷を低減し、二酸化炭素排出量削減に貢献するために、省資源、省エネルギー及び廃棄物の減量化を目的及び目標に取り入れ推進し、達成状況を確認しながら定期的な見直しを行う。
- ④ 関連する法令、条例・諸規則及び地域の要求事項を遵守し、特に、事業活動に伴い発生する排水及び排ガスは維持管理によって適正に処理し、他の環境要素も含めて周辺の環境監視を継続する。また、優良産廃処理業者を維持するため、関連する情報公開を推進するほか、安全・安心な職場環境を目指す。
- ⑤ 教育や朝礼を通して、この環境方針を全社員に周知徹底する。
- ⑥ 環境方針は、一般に公開する。

平成24年11月17日 株式会社富山環境整備
代表取締役 松浦 英樹

ISO14001 環境マネジメントシステムサーベイランス審査

2013年3月7日～8日に当社が認定取得しているISO14001:2004/JIS Q 14001:2004のサーベイランス審査が行われました。今回の審査において不適合事項はありませんでした。今後も情勢に合わせて環境目標を定め、継続的に取り組んでまいります。

サーベイランス審査結果

■ 審査の結論

規定された手順の適切性及びその実施状況については容認できるものであることを確認した。また、内部監査及びマネジメントレビューは、概ね適切に実施されており、EMSの継続的な妥当性及び有効性は確保できるものと考えられる。

■ 審査における不適合、改善要望

審査の結果、不適合は発見されなかった。審査メモ4件（内良かった事項1件）を観察した。

■ 審査メモ

A：良かった事項

次課長会議による2か月毎の安全パトロールと年3回実施される産業医パトロールにより、職場の作業効率向上と安全な職場環境の構築が実施されていた。

B：改善、システムのレベルアップ等のために検討等が望まれる事項

- 設備の点検記録のうち機器点検項目リストの記入については、ゲージの読み取り値等を記入するなど点検内容記載方法について再検討されたい。
- 品質と環境のISO活動に取り組まれているので、記録類等は共通にするなど、効率的な運用に対して検討の余地がある。また、記録の記帳には修正テープは使用しないように心掛けてください。
- 全部門に対して定期的に内部監査が実施されているが、第40期に実施された内部監査については是正の方法に改善の余地がある。

審査機関／株式会社日本審査機構

低燃費車、低燃費重機を導入

当社では様々な車輛を保有しており多くの化石燃料を使用しております。車輛なしでは当社の事業は成り立たないため、車輛の使用における環境負荷低減を目標に掲げております。

第41期には営業車にハイブリット車を導入し、長距離運転を行うときは優先的に使用しております。また、吉谷事業所内で使用している重機の一部を低燃費型重機へ更新しました。そのほか、収集運搬車両においては低排ガス車と低燃費車の導入率を目標に掲げており、今後も随時導入を進めていきます。



ハイブリット車



低燃費重機

収集運搬車両における低公害車導入状況

KPI	目 標	第41期実績
低排ガス車導入率	全保有台数のうち平成17年基準 低排ガス重量車以降の規制車両の占める割合	35% 42.8%
低燃費車導入率	全保有台数のうち平成27年度燃費基準達成車の占める割合	25% 32.7%

環境啓発活動

当社が保有している施設や廃棄物処理・リサイクルシステムを地域の方々にご覧頂き、当社の事業活動へのご理解と環境に対する興味を少しでも持って頂きたいという思いで施設見学等を含めた環境教育を行っています。第41期は21の団体、述べ437名の方に事業紹介や施設見学を実施しました。参加者からは「実際の廃棄物処理はこうに行われているとは知らず、勉強になった」というお声を頂きました。



マテリアルバランス

INPUT

■エネルギー（全事業所）

電気	32222Mwh
A重油	887466L
廃油	233146L
灯油	6780L
廃油	724279L
軽油	834054L

■原材料

消石灰	895011L
活性炭	17243L
キレート剤	36720L
アンモニア	75m3

■産業廃棄物

247918.3t	
廃プラスチック類	119497.1t
がれき	40621.4t
破碎・選別可燃物	19997.0t
ガラス陶磁器くず	14275.7t
シュレッダーダスト	10835.9t
鋳さい	9406.2t
無機汚泥	6712.2t
下水道汚泥	5647.5t
木くず	4275.5t
有機性汚泥	3776.3t
燃え殻	2114.6t
廃PCB等	1689.0t
一般廃油	1652.1t
有害鋳さい	1053.6t
ばいじん	860.4t
石綿含有産廃	758.9t
PCB汚染物	757.2t
廃アルカリ	665.7t
紙くず	649.4t
瓦礫類（コンクリート）	499.3t
金属くず	482.0t
腐食性廃アルカリ	395.7t
瓦礫類（アスファルト）	393.2t
無機性汚泥	362.5t
感染性産業廃棄物	264.8t
動植物性残渣	81.4t
廃酸	75.2t
繊維くず	60.6t
固形廃油	42.6t
有害汚泥	9.0t
廃プラスチック類（タイヤ）	4.0t
ゴムくず	1.3t
有害廃アルカリ	1.0t
腐食性廃酸	0.3t



廃棄物事業

リサイクル事業

ボトリング事業

アグリ事業

OUTPUT

■CO₂排出量

25707.06t-CO₂

※エネルギー起源のCO₂排出量を対象として算定しています。

■製品生産量

リバース
パレット 14410t

■リサイクル

当社処理 25096.5t

委託 19353.6t

■最終処分（埋立・焼却）

当社処理 131272.5t

委託 2218.4t

■その他廃棄物

焼却後
廃棄物等 49980.3t

※温室効果ガス排出係数は「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」にて掲載されている情報にて算定しております。

水質測定データ

当社が保有している施設からの排水や周辺環境の水域・地下水・浸出水などの水質測定を定期的に行い、水環境の保全に努めています。

最終処分場総合排水の水質測定結果 (平成25年6月5日採取)

ID	項目	結果	単位	定量下限値	管理目標
1	pH	8.0	—	—	5.8~8.6
2	SS	2	mg/L	—	30
3	BOD	2.8	mg/L	—	25
4	COD	25	mg/L	—	160
5	電気伝導率	270	mS/cm	—	—
6	全窒素	48	mg/L	—	120
7	全りん	0.24	mg/L	—	16
8	大腸菌群数	<30	個/cm ¹⁰⁰	—	3000
9	ノルマルヘキサン抽出物 (動植物油脂類)	<1	mg/L	—	5
10	ノルマルヘキサン抽出物 (鉱物油類)	<1	mg/L	—	30
11	フェノール類	<0.5	mg/L	—	5
12	銅	<0.1	mg/L	—	3
13	亜鉛	<0.5	mg/L	—	2
14	溶解性鉄	<1	mg/L	—	10
15	溶解性マンガン	<0.3	mg/L	—	10
16	全クロム	<0.2	mg/L	—	2
17	カドミウム	N.D.	mg/L	0.005	0.1
18	全シアン	N.D.	mg/L	0.1	1
19	鉛	N.D.	mg/L	0.01	0.1
20	有機りん	N.D.	mg/L	0.1	1
21	六価クロム	N.D.	mg/L	0.02	0.5
22	砒素	N.D.	mg/L	0.005	0.1
23	総水銀	N.D.	mg/L	0.0005	0.005
24	アルキル水銀	N.D.	mg/L	0.0005	N.D.
25	ポリ塩化ビフェニル	N.D.	mg/L	0.0005	0.003
26	ジクロロメタン	N.D.	mg/L	0.02	0.2
27	四塩化炭素	N.D.	mg/L	0.002	0.02
28	1,2-ジクロロエタン	N.D.	mg/L	0.004	0.04
29	1,1-ジクロロエチレン	N.D.	mg/L	0.02	1
30	シス-1,2-ジクロロエチレン	N.D.	mg/L	0.04	0.4
31	1,1,1-トリクロロエタン	N.D.	mg/L	0.0005	3
32	1,1,2-トリクロロエタン	N.D.	mg/L	0.006	0.06
33	トリクロロエチレン	N.D.	mg/L	0.002	0.3
34	テトラクロロエチレン	N.D.	mg/L	0.0005	0.1
35	1,3-ジクロロプロペン	N.D.	mg/L	0.002	0.02
36	チウラム	N.D.	mg/L	0.006	0.06
37	シマジン	N.D.	mg/L	0.003	0.03
38	チオベンカルブ	N.D.	mg/L	0.02	0.2
39	ベンゼン	N.D.	mg/L	0.01	0.1
40	セレン	N.D.	mg/L	0.01	0.1
41	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	7.5	mg/L	1	200
42	ふっ素	0.8	mg/L	0.1	15
43	ほう素	4.6	mg/L	0.1	50
44	1,4-ジオキサン	N.D.	mg/L	0.05	0.5
45	ダイオキシン類	0.0079	pg-TEQ/L	0.005	10

焼却炉測定データ

当社が保有している発電併用焼却施設からの排ガス及び焼却残さや周辺環境大気などの監視を定期的に行い、安全に運転管理しています。

[平成25年8月12日採取]

項目	検査結果	管理目標
排ガス中のばい煙量又はばい煙濃度 (採取位置：煙突)	排ガス量 [m ³ /h]	55000
	硫黄酸化物 [ppm]	7.3
	硫黄酸化物K値	0.06
	ばいじん [mg/m ³ N]	<1
	塩化水素 [mg/m ³ N]	32
	窒素酸化物 [ppm]	45
	ダイオキシン類 [ng-TEQ/m ³ N]	0.055
	PCB [ng/m ³ N]	11

項目	検査結果	管理目標
燃え殻	熱灼減量 (%) [月平均]	5.7
	熱灼減量 (%)	9.0
	ダイオキシン類 [ng-TEQ/g]	0.074
	PCB (溶出) [mg/L]	<0.0005
ばいじん	ダイオキシン類 [ng-TEQ/g]	1.2
	PCB (溶出) [mg/L]	<0.0005

■ 天空の杜プロジェクト 活動報告

2013年9月よりスタートした「天空の杜プロジェクト」の活動報告を致します。



■ 「天空の杜プロジェクト」とは？

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟との協働事業で、3つのステップでカンボジアに安全・安心な水を届けるプロジェクトです。第1ステップは当社で製造しているボトルドウォーター「天空の杜」をカンボジア・シャムリアップ州の病院や日本ユネスコ協会連盟が運営する教育施設「寺子屋」へ届けます。第2ステップは対象となる寺子屋と病院に、ろ過浄水装置を設置し、自分たちでメンテナンスができるように技術指導を行います。最後の第3ステップとして、安全な水に関する教材を作り、寺子屋と病院で活用していきます。第1ステップでは、日本からカンボジアまでの輸送を日本郵船株式会社様にご協力頂き、3年間で500mlペットボトル155万本を配布する予定です。

【2013年9月】天空の杜プロジェクト調印式

当社ボトリング工場にて「天空の杜プロジェクト」の調印式を行いました。富山ユネスコ協会の松波孝之会長、日本ユネスコ協会連盟の寺尾明人事務局次長、同連盟カンボジア事務所ノン・ブッタ所長とともに記者会見を行いました。



【2013年9月】第一便が富山を出発

9月28日に富山新港より天空の杜第一便が出発しました。今回は500mlペットボトル129,600本（コンテナ3台分）をカンボジアへ向けて輸送します。輸送は本プロジェクトに賛同いただいた、日本郵船株式会社様に実施頂きました。11月3日にカンボジアのシェムリアップに到着し、シャムリアップ州にある4つの病院と日本ユネスコ連盟が運営する教育施設「寺子屋」に配られました。



防犯パトロール活動状況(NPO法人 安全企画センター)

NPO法人安全企画センターは富山市内を中心に防犯パトロールを行っております。第41期では年間250日以上、の防犯パトロールを実施しました。児童、生徒の登校・下校時間帯の防犯パトロールや富山西警察署等から要請があった地域や時間帯のパトロールを行い、安全・安心な地域社会を目指し活動しております。

上記活動以外にも様々なキャンペーンを実施しております。2012年11月11日には、大阪屋藤木店(富山市開)で当社の野球部員と富山中央警察署野球部員の皆様と連携しカギかけキャンペーンを行いました。野球の練習試合前に店頭にて地域の皆様にビラを配布し、協力して防犯啓発を行いました。

また、富山県防災・危機管理課安全なまちづくり班が開催している「学生防犯ボランティア講座」への協力を行いました。2012年12月11～13日の3日間、学生ボランティア8名を受入れ青パトによる防犯パトロールを行い、実際のパトロールを体験して頂きました。

住みよい地域社会とづくりを実現するためには、地域の皆様のご協力が必要です。警察や行政など様々な方々と協力し、引き続き活動を行ってまいります。



清掃活動の実施

NPO法人 安全企画センターが実施している防犯パトロールに合わせて道路周辺の清掃活動を行っております。また2012年11月には池多事業所がある呉羽南部企業団地内の企業で実施する清掃活動にも参加致しました。

その他にも各種団体主催の清掃活動に企業として積極的に参加しております。



トマトの収穫イベントを開催

2013年5月24日にじんぼ保育園の園児たち35名を迎え、当社下吉川事業所のスマートファームにてトマトの収穫イベントを開催致しました。

参加した子どもたちにはハウス栽培しているフルーツトマト「フォレストフルティカ」を自分たちの手で収穫し、おいしそうに食べて頂きました。



地域イベントへの参加・協賛

地域の皆様との貴重なコミュニケーションとこの富山地域をもっと元気にしたいと思い、地域で開催されるイベントへ積極的に参加・協賛を行っております。

毎年8月1日に行われている「北日本新聞納涼花火大会」は、富山大空襲（1945年〈昭和20年〉8月1日～2日）から2年後に、犠牲者の鎮魂と復興、平和への願いを込めて始まったものです。当社では花火大会の翌朝に清掃活動を行い、イベントで出たゴミを回収しきれない状態に戻すお手伝いをしております。

2013年6月2日に富山県射水市で行われた「いっちゃん!リレーマラソン2013」では、当社が製造している飲料水「天空の杜」をマラソンランナーの皆様へ無料で配布し、乾いた喉を潤して頂きました。また、当社社員でフルマラソンの部にも参加し、地域の皆様とのコミュニケーションも図ることができました。他にもスポーツイベントや教育現場である学校主催のイベントにも多数協賛しています。様々な分野でより活性化した富山地域社会を地域の皆様と共に目指し、引き続き参加・応援をしていきます。



参加・協賛イベント実績

年月	イベント名	内容
2012年11月	富山市八尾文化祭	協賛
2012年11月	第11回「富山きときと杯」ドッジボール大会	協賛
2013年5月～6月	日枝神社大祭（山王まつり）	天空の杜、トマトの出店販売 お祭りの翌朝に清掃活動
2013年6月	トヤマパフォーマーフェスタ2013	協賛
2013年7月	KNB 大バザール2013	「天空の杜」を販売
2013年7月	タナバタビアフェスタ・トヤマ	協賛
2013年8月	富山県立大学 ダ・ヴィンチ祭	協賛
2013年8月	小杉みこし祭り2013	社員参加、協賛
2013年9月	富山カレーフェスタ2013	協賛
2013年10月	丘の夢牧場ふれあいフェア2013	協賛

安全衛生活動

様々な機械が作動する当社では安全衛生管理計画を6つの項目で策定し業務における安全と健康の確保を行っております。また、「安全衛生委員会」を設置しPDCAサイクルにて管理を行っております。安全衛生状況を定期的に確認し更なる改善を図るために、産業医と安全衛生委員により全職場の安全パトロールを実施しています。このパトロールでは自社チェックシートに基づいた安全確保の確認のほか、「ヒヤリ・ハット」※の発見にも力を入れており重大な災害や事故の予防につなげております。安全パトロールの結果は毎月一回開催する安全衛生委員会会議で各部署に共有しています。この会議の場で結果に対する改善策の検討やヒヤリハット事例の共有を行い、PDCAを実行するための重要な機能を担っています。

※「ヒヤリ・ハット」／突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットとしたりするもののこと。ヒヤリ・ハットの事例を集めることで重大な災害や事故を予防することができる。



安全衛生管理 6つの項目

安全衛生管理体制

作業環境管理

健康確保

設備・機械等

安全衛生教育

快適職場形成の推進

働きやすい職場の創造

当社では社員を大切にし共に成長していくために、働きやすい環境の整備に努めています。特にこれからは女性社員の活躍が当社には必要不可欠です。女性が長く働ける職場づくりを目指すため、各種法律に則り育児休業制度や短時間勤務制度、フレックスタイム制度を整えており、その他にも出産・育児を応援する諸手当も設けております。今後も制度の整備に加え、当社や関連会社において更なる意識浸透に向けた取り組みを強化し制度の活用推進と、ワークライフバランスの要請に応え働きやすい職場づくりを推進していきます。

育児休業制度

育児休業制度は原則として子どもが1歳までの1年間休業できる制度です。この制度を利用した社員は3名おり、現在職場復帰し引き続き活躍しております。

短時間勤務制度／フレックスタイム制度

社員が仕事と子育てを両立させることができるよう法律に則り短時間勤務制度やフレックス制度などを導入しています。短時間勤務制度は、3歳に満たない子どもがいる社員に対して、希望すれば1日の労働時間を原則として6時間とする制度です。また、社員の希望によりフレックスタイム制度といった裁量労働が可能な体制を整えており、働ける日は長めに働き、子どもの用事などで時間が必要な時は短い勤務としながら勤務できるような体制を整えています。

社内コミュニケーション活動

社員同士のコミュニケーションを図るためにボーリング、キス釣り、野球を始め、様々な社内サークル活動を実施しております。約30名程の社員で構成される野球部は定期的に試合を実施しています。2013年夏季には計4つの大会に参戦し、熱戦を繰り広げました。応援に来た社員らとも大変盛り上がり、汗水と歓声の中で社員同士の絆が一層深まった思い出深いイベントとなりました。また、2013年6月に開催したキス釣り大会(新湊漁港発)には20名、同年10月のボーリング大会には総勢82名もの社員が参加しました。新入社員も大勢参加し、先輩後輩・上司部下の垣根を越え和気あいあいとした雰囲気の中、日頃なかなか接する機会がない他部署の社員と交流を持つことができました。



関連法規

当社事業に係る法規関係について、自主管理基準をまとめ、定期的に遵守状況を確認しております。第41期もすべての関連法規について遵守ができておりました。引き続き自主管理を行い、安全・安心のサービス提供に努めてまいります。

法律	水質汚濁防止法	法律	都市計画法
法律	大気汚染防止法	法律	景観法
法律	騒音規制法	法律	貨物自転車運送事業法
法律	振動規制法	法律	道路運送車両法
法律	浄化槽法	法律	自転車リサイクル法
法律	廃棄物及び清掃に関する法律	法律	家電リサイクル法
法律	土壌汚染対策法	法律	電気事業法
法律	計量法	法律	エネルギーの使用合理化に関する法律
法律	ダイオキシン類対策特別装置法	法律	食品衛生法
法律	労働安全衛生法	条例	富山県公害防止条例
法律	PRTR法	協定	射水市との公害防止協定
法律	消防法	協定	富山市協定
法律	建築基準法	要綱	富山市産業廃棄物適性処理指導要綱
法律	毒物及び劇物取締役法	要綱	富山県土地対策要綱
法律	森林法		

財務データ

売上高

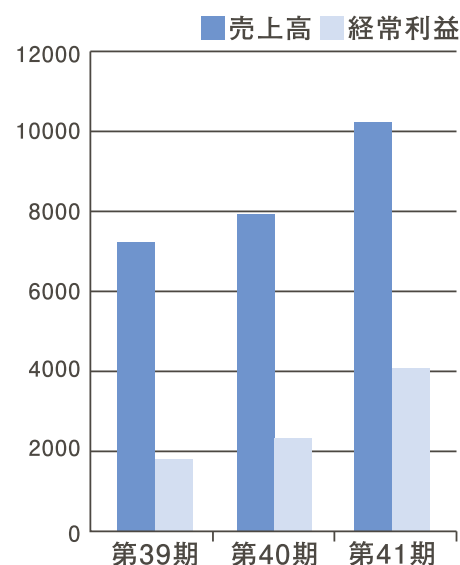
(単位:百万円)

第39期	第40期	第41期
7,090	8,019	10,351

経常利益

(単位:百万円)

第39期	第40期	第41期
1,878	2,572	4,161





株式会社 富山環境整備

〒939-2638 富山県富山市婦中町吉谷3-3

TEL.076-469-5356 FAX.076-469-5635

E-Mail:yositani@tko-co.jp HP:<http://www.tks-co.jp>



この印刷物は、見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用し、
自然環境に配慮して植物油インキを使用し、
環境にやさしい水無し印刷で制作しています。